

- んかんの血液脳関門透過性亢進と免疫病態の  
 説明. 第 52 回日本小児神経学会総会,  
 2010.5.20-22 ; 福岡
- 56) 根岸 豊, 濱口貴代, 小林 悟, 安藤直樹, 伊藤  
 哲哉, 戸苅 創, 高橋幸利: 抗 NMDA 受容体抗  
 体陽性急性辺縁系脳炎の 13 歳女児例. 第 52 回  
 日本小児神経学会総会, 2010.5.20-22 ; 福岡
- 57) 泉 鉦吉, 高橋幸利: 緑膿菌感染症に罹患後、  
 てんかん発作が消失した AERRPS (Acute  
 encephalitis with refractory, repetitive partial  
 seizures) の 1 例. 第 52 回日本小児神経学会総  
 会, 2010.5.20-22 ; 福岡
- 58) 高野志保, 高橋幸利, 森 寿: NMDA 型グルタ  
 ミン酸受容体サブユニットに対する新たな自  
 己抗体スクリーニング系の確立と患者血清を  
 用いた検討. 第 52 回日本小児神経学会総会,  
 2010.5.20-22 ; 福岡
- 59) 向田壮一, 今井克美, 下島圭子, 山本俊至, 池  
 上真理子, 池田浩子, 高山留美子, 最上友紀子,  
 高橋幸利: 點頭てんかんを発症した Williams 症  
 候群の 2 症例. 第 52 回日本小児神経学会総会,  
 2010.5.20-22 ; 福岡
- 60) 小野浩明, 高橋幸利: インフルエンザ感染を契  
 機に非ヘルペス性辺縁系脳炎を発症した 1 例.  
 第 52 回日本小児神経学会総会, 2010.5.20-22 ;  
 福岡
- 61) 小泉ひろみ, 高橋幸利: 地震後急性発症し、精  
 神病性障害と考えられた抗 NMDA 受容体抗体  
 陽性脳症の 12 歳女児例. 第 52 回日本小児神経  
 学会総会, 2010.5.20-22 ; 福岡
- 62) 岩井明日香, 三浦良介, 寺澤厚志, 松波邦洋,  
 伊藤玲子, 高橋幸利, 木全かおり, 折居恒治,  
 今村淳: MRSpectroscopy (MRS) で解析した症  
 候性 West 症候群の 2 症例. 第 52 回日本小児神  
 経学会総会, 2010.5.20-22 ; 福岡
- 63) 樋口 司, 西村貴史, 石田岳史, 福山哲弘, 稲  
 葉雄二, 高橋幸利: 言語機能が徐々に回復した  
 亜急性脳症の 1 例. 第 52 回日本小児神経学会  
 総会, 2010.5.20-22 ; 福岡
- 64) 島袋陽子, 大府正治, 崎原徹裕, 高橋幸利: 卵  
 巣奇形腫を伴った抗グルタミン酸受容体  
 (GluR) 抗体陽性辺縁系脳炎の 1 例. 第 52 回  
 日本小児神経学会総会, 2010.5.20-22 ; 福岡
- 65) 崎原徹裕, 大府正治, 島袋陽子, 高橋幸利: ス  
 テロイドパルス療法が有効であった抗グルタ  
 ミン酸受容体 (GluR) 抗体陽性脳炎の 1 例. 第  
 52 回日本小児神経学会総会, 2010.5.20-22 ; 福  
 岡
- 66) 28) 中村康子, 松本浩, 高橋幸利: 難治性痙攣、  
 意識障害を呈し、非ヘルペス性辺縁系脳炎と診  
 断した 1 例. 第 52 回日本小児神経学会総会,  
 2010.5.20-22 ; 福岡
- 67) 福田美穂, 高橋幸利, 山本寿子, 橋本修二, 宮  
 本雄策, 新井奈津子, 神山紀子, 村上浩史, 山  
 本 仁: 強い精神症状を認めた非ヘルペス性辺  
 縁系脳炎の 1 例. 第 46 回神奈川小児神経懇話  
 会
- 68) 白井晴己, 有馬ふじ代, 後藤美和, 山本恭平,  
 平塚 恵, 岡田隆文, 松原啓太, 輿石 薫, 込山  
 修, 高橋幸利: インフルエンザ罹患後に辺縁系  
 脳症が疑われた 1 例. 日本小児科学会東京都地  
 方会, 2010.6.12 ; 東京
- 69) 最上友紀子, 高橋幸利, 那須裕郷, 須佐史信,  
 木村暢佑, 木村記子, 臼井大介, 伊藤智城, 福  
 山哲広, 高山留美子, 池田浩子, 今井克美, 重  
 松秀夫: 先天性中枢性肺胞低換気症候群にてん  
 かんを合併した女児例. 第 53 回静岡小児神経  
 研究会, 2010.6.19 ; 浜松
- 70) 松山裕文, 下竹昭寛, 松本理器, 池田昭夫, 高  
 橋良輔, 松橋眞生, 福山秀直, 田中恵子, 高橋  
 幸利: 抗 NMDA 受容体抗体陽性で病変以外に多  
 焦点を獲得した難治部分てんかんの 1 症例. 日  
 本神経学会近畿地方会, 2010.7.4
- 71) 大谷早苗, 今井克美, 高橋宏佳, 高山留美子,  
 最上友紀子, 大谷英之, 池田浩子, 重松秀夫,  
 美根 潤, 高橋幸利, 下島圭子, 山本俊至, 井  
 上有史: CDKL5 遺伝子異常を有する乳児早期発  
 症てんかんの検討. 第 3 回日本てんかん学会東  
 海・北陸地方会, 2010.7.10 ; 名古屋
- 72) 市山高志, 庄司鉦史, 高橋幸利: パネルディス

- カッション「ヘルペス脳炎と非ヘルペス脳炎の最近のトピックス」非ヘルペス性辺縁系脳炎の髄液サイトカイン解析 単純ヘルペス脳炎との比較検討. 第 17 回ヘルペス感染症フォーラム, 2010.8.20-21 ; 札幌
- 73) 杉山永見子, 鹿庭なほ子, 頭金正博, 黒瀬光一, 長谷川隆一, 松永佳世子, 高橋幸利, 古谷博和, 村松正明, 外園千恵, 木下 茂, 相原道子, 池澤善郎, 斎藤嘉朗: 日本人におけるステープルス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症と相関する HLA タイプの探索 (第三報). 免疫毒性学会, 2010.9.9-10 ; 筑波
- 74) 後藤昌英, 穂坂 翔, 佐藤未織, 加藤啓輔, 塩野淳子, 泉 維昌, 小池和俊, 土田昌宏, 高橋幸利: 難治頻回部分発作重積型急性脳炎 (AERRPS) に血球貪食性リンパ組織球症 (HLH) を合併した 1 例. 関東小児神経研究会, 2010.9.12
- 75) 曾我一将, 尾崎 心, 入岡 隆, 高橋幸利, 水澤英洋: 卵巣奇形腫を合併した抗 GluR 抗体陽性脳幹脳炎の 36 歳女性例. 第 194 回日本神経学会関東地方会, 2010.9
- 76) 古澤嘉彦, 小川雅文, 村田美穂, 高橋幸利: 急性小脳炎発症後、4 年の経過で小脳性運動失調が緩徐に進行した GluR 抗体陽性の 40 歳男性例. 第 194 回日本神経学会関東地方会, 2010.9
- 77) 高木謙太郎, 水谷真之, 向井信弘, 松村 謙, 大久保卓哉, 渡邊睦房, 高橋幸利, 鎌田智幸: Ramsay hunt 症候群に辺縁系脳炎を合併した 87 歳女性の 1 例. 第 194 回日本神経学会関東地方会, 2010.9
- 78) 南木康作, 荻野 悠, 川島弘彦, 村山真治, 宮内安澄, 岩田祐輔, 小松素明, 小出隆司, 有馬宏和, 中川博之, 高橋幸利, 田中恵子: 血清抗 GluR  $\delta$  2 抗体、髄液抗 NMDAR 抗体陽性であった非ヘルペス性辺縁系脳炎の一例. 内科学会関東地方会, 2010.10.2
- 79) 岸谷 融, 村松倫子, 横山広美, 三浦豊章, 小林康孝, 米田 誠, 高橋幸利: ステロイドが著効した非ヘルペス性辺縁系脳炎の 1 例. 第 128 回日本神経学会東海北陸地方会, 2010.10
- 80) 立花直子, 石井恵子, 高橋幸利, 田中恵子, 有馬邦正, 池田修一: 若年女性の卵巣における NMDAR 関連抗原の発現に関する免疫組織化学検討. 第 15 回日本神経感染症学会, 2010.10.8-9 ; 福島
- 81) 池田浩子, 高橋幸利, 今井克美, 伊藤智城, 臼井大介, 木村暢佑, 木村紀子, 近藤聡彦, 須佐史信, 高山留美子, 那須裕郷, 福山哲広, 最上友紀子, 井上有史: Turner 症候群に合併するてんかん. 第 44 回日本てんかん学会, 2010.10.14-15 ; 岡山
- 82) 最上友紀子, 高橋幸利, 那須裕郷, 須佐史信, 臼井大介, 木村暢佑, 木村記子, 伊藤智城, 福山哲広, 高山留美子, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史: 脳炎・脳症後てんかんと抗てんかん薬の副作用. 第 44 回日本てんかん学会, 2010.10.14-15 ; 岡山
- 83) 大谷早苗, 今井克美, 高橋宏佳, 高山留美子, 最上友紀子, 大谷英之, 池田浩子, 重松秀夫, 美根 潤, 高橋幸利, 下島圭子, 山本俊至, 井上有史: CDKL5 遺伝子異常を有する乳児早期発症てんかんの検討. 第 44 回日本てんかん学会, 2010.10.14-15 ; 岡山
- 84) 池上真理子, 高橋幸利, 向田壮一, 高山留美子, 最上友紀子, 池田浩子, 今井克美, 大谷英之, 久保田裕子, 重松秀夫, 井上有史: 難治再発 West 症候群における ACTH 療法反復施行の検討. 第 3 報: 投与時脳波所見と有効性. 第 44 回日本てんかん学会, 2010.10.14-15 ; 岡山
- 85) 操 徳智, 大谷英之, 萩原郁夫, 大谷早苗, 高橋幸利, 山川和弘, 井上有史: 乳児重症ミオクロニーてんかんのマウスモデルにおけるステイリペントールの効果. 第 44 回日本てんかん学会, 2010.10.14-15 ; 岡山
- 86) 中島絵梨花, 田中 学, 松浦隆樹, 菅谷ことこ, 菊池健二郎, 南谷幹之, 高橋幸利, 浜野晋一郎: 水痘脳炎後に難治性てんかを示した 1 例. 第 44 回日本てんかん学会, 2010.10.14-15 ; 岡山
- 87) 宮田理英, 田沼直之, 林 雅晴, 高橋幸利: 水

- 痘罹患を契機に発症した自己免疫性の脳症が疑われた West 症候群後難治てんかんの 8 歳男児例. 第 44 回日本てんかん学会, 2010.10.14-15; 岡山
- 88) 赤坂真奈美, 亀井 淳, 曾我菜海, 高橋幸利, 千田勝一: 抗グルタミン酸受容体抗体 (抗 GluR $\epsilon$ 2 抗体) 陽性の自己免疫介在性脳炎に残存するてんかん治療について. 第 16 回小児神経学会東北地方会, 2010.10
- 89) 細田直子, 坪内めぐみ, 横山勝利, 太田典子, 松村博史, 長田泉美, 岡田晋一, 渡辺保裕, 前垣義弘, 高橋幸利, 中込和幸: 慢性腎炎を合併し、ステロイドパルス療法により症状の改善を認めた自己免疫性脳炎の一症例. 中国地区 GHP 研究会, 2010.10
- 90) 細田直子, 坪内めぐみ, 横山勝利, 太田典子, 松村博史, 長田泉美, 岡田晋一, 渡辺保裕, 前垣義弘, 高橋幸利, 中込和幸: 慢性腎炎を合併し、ステロイドパルス療法により症状の改善を認めた自己免疫性脳炎の一症例. 精神科診断学会, 2010.10
- 91) 細田直子, 坪内めぐみ, 横山勝利, 太田典子, 松村博史, 長田泉美, 岡田晋一, 渡辺保裕, 前垣義弘, 高橋幸利, 中込和幸: 慢性腎炎を合併し、ステロイドパルス療法により症状の改善を認めた自己免疫性脳炎の一症例. 中四国精神神経学会・保健学会, 2010.10
- 92) 小俣 卓, 高梨潤一, 高橋幸利, 新井ひでえ, 田邊雄三, 本島敏乃: 脳炎後に重度の後遺症を残し 2 年以上経過した後、著名な回復をみせている女児例. 千葉県小児神経懇話会, 2010.11
- 93) 久保田裕子, 森川建基, 高橋幸利: 発作間欠時脳波の変化に伴い、発作型が変化した West 症候群の 1 例. 第 61 回名古屋臨床脳波検討会, 2010.11.6; 名古屋
- 94) 有馬宏和, 村山真治, 宮内安澄, 西村 修, 藤本喜展, 笠井健児, 中川博之, 持丸文雄, 南木康作, 小出隆司, 高橋幸利, 田中恵子: 血清抗 GluR $\sigma$ 2 抗体、髄液抗 NMDAR 抗体陽性であった非ヘルペス性辺縁脳炎の一例. 第 392 回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 2010.11.14; 平塚
- 95) 飯田ちひろ, 平野恵子, 奥村良法, 渡邊誠司, 愛波秀男, 高橋幸利: 精神症状で発症し診断に苦慮した非ヘルペス性辺縁系脳炎の一例. 第 54 回静岡小児神経研究会, 2010.11.20; 静岡
- 96) 須佐史信, 高橋幸利, 藤原由美, 村上智彦, 最上友紀子, 高山留美子, 大谷早苗, 池田浩子, 久保田裕子, 重松秀夫: 小児期発病モヤモヤ病におけるてんかんの臨床的検討. 第 54 回静岡小児神経研究会, 2010.11.20; 静岡
- 97) 山本吉章, 幾見泰洋, 三島信行, 西村成子, 高橋幸利: 小児てんかん患者を対象としたクロバザムの固体内変動に関する検討. 第 64 回国立病院総合医学会学術集会, 2010.11.26-27; 福岡
- 98) 橋口俊太, 室橋洋子, 遠藤雅直, 上木英人, 高橋竜哉, 黒岩義之, 高橋幸利: 高齢男性にみられ悪性腫瘍の合併がない辺縁系脳炎の 67 歳男性例. 第 195 回日本神経学会関東地方会, 2010.11.27
- 99) 金塚陽一, 山本正博, 梁 成勲, 今関良子, 高橋幸利: 非痙攣性てんかん重積状態を呈した抗 GluR $\epsilon$ 2 抗体陽性の 78 歳女性例. 第 195 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2010.11.27
- 100) 甲斐 太, 荒田 仁, 林 茂昭, 長堂竜維, 高橋幸利, 丸山芳一: 抗グルタミン酸受容体抗体が陽性であった可逆性脳梁膨大部病変を伴った脳炎の 2 例. 第 192 回日本神経学会九州地方会, 2010.11.27
- 101) 鹿庭なほ子, 頭金正博, 黒瀬光一, 長谷川隆一, 高橋幸利, 古谷博和, 松永佳世子, 村松正明, 木下茂, 相原道子, 池澤善郎, 斎藤嘉朗: カルバマゼピン関連スティープンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死症の日本人における遺伝的危険因子. 日本臨床薬理学会, 2010.12.1-3; 京都
- 102) 大川真理, 森田ゆかり, 大崎康史, 清水祐司, 村田和子, 高橋幸利, 土居義典: 進行性脳萎縮、失語、片麻痺の経過中に筋萎縮を認め、ラスマッセン脳炎慢性期と考えられた 1 例. 第 89 回

- 日本神経学会中国・四国地方会, 2010.12.4 ; 島根県出雲
- 103) 白久義久, 白井謙太朗, 金子節子, 菅原祐之, 荒木 聡, 林 雅晴, 高橋幸利: 激しい不随意運動と情動興奮を来し, 髄液中の抗 GluR  $\epsilon$  2,  $\delta$  2 抗体が陽性であった非ヘルペス性急性辺縁系脳炎様経過を示した 12 歳女児例. 蔵王セミナー, 2011.2.11-12 ; 山形
- 104) 青山幸平, 宮地悠江, 佐藤有沙, 徳永博秀, 後藤志歩, 森田 誠, 渡邊一功, 長谷川真司, 高橋幸利: 5 年後に再発を認めた抗 NMDA 受容体脳炎の 11 歳男児例. 日本小児科学会東海地方会, 2011.2
- 105) 高橋幸利, 西村成子, 角替央野, 美根 潤, 久保田裕子, 今井克美, 松田一己, 今村 淳, 藤原建樹, 井上有史: Rasmussen 症候群とその類縁疾患の自己反応性細胞障害性 T 細胞・Th1 細胞の持続性活性化の病態解明から治療開発に向けた研究. てんかん治療研究振興財団第 22 回研究報告会, 2011.3.4 ; 千里
- 106) 金澤恭子, 松本理器, 高橋幸利, 池田昭夫, 高橋良輔: 抗 VGKC 抗体関連辺縁系脳炎が示唆された患者群の臨床像の検討. 第 52 回京滋てんかん懇話会, 2011.3.12 ; 京都
- 107) 油川陽子, 高橋幸利: 高齢男性に発症した抗 GluR  $\epsilon$  2 抗体陽性の非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の一例. 日本神経学会北海道地方会, 2011.3.6
- 108) 福田明子, 高木 努, 木下郁夫, 上田康雄, 高橋幸利: 免疫療法介入前に速やかに改善した抗グルタミン酸受容体抗体陽性脳炎の 1 例. 第 193 回日本神経学会九州地方会
- 109) 三木康生, 高橋幸利: 抗 Hu 抗体、抗 GluR  $\epsilon$  2 抗体がともに陽性であった辺縁系脳炎の 1 例. 第 88 回日本神経学会東北地方会
- 110) Ikezawa Y, Aihara M, Matukura S, Kanbara T, Takahashi Y, Ikeda H, Ikezawa Z: The efficacy of plasmapheresis in treatment of SCARs such as SJS/TEN and the probable action mechanism. the First Eastern Asia Dermatology Congress (EADC2010), 2010.9.30-10.3; Fukuoka, Japan.
- 111) Imai K, Takenami C, Takayama R, Mogami Y, Ikeda H, Takahashi Y, Inoue Y: Anti-epileptic drug level changes by the ketogenic diet. INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON THE DIETARY TREATMENTS FOR EPILEPSY AND OTHER NEUROLOGICAL DISORDERS, 2010.10.5-8, 2010; Edinburgh, Scotland, UK.
- 112) Ihara Y, Tomonou Y, Fujita T, Ideguchi H, Inoue T, Yasumoto S, Takahashi Y, Hirose S: Steroid Pulse Therapy for a case of Frontal Lobe Epilepsy with antibodies to glutamate receptor (GluR). 8th Asian & Oceanian Epilepsy Congress, 2010.10.21-24; Melbourne, Australia.
- 113) Fukuda M, Yamamoto H, Takahashi Y. A case of Non-herpetic Acute Limbic Encephalitis with severe psychiatric symptoms. American Epilepsy Society's Annual Meeting 2010, 2010.12.3-7; San Antonio, Texas, USA.
- 114) Takayama R, Takahashi Y: Self-induced seizures probably by peri-orbital somatosensory stimulation: a report of two cases. American Epilepsy Society's Annual Meeting 2010, 2010.12.3-7; San Antonio, Texas, USA.
- 115) Horigome Y, Ohtani H, Inoue Y, Sakai S, Ogiwara I, Yamakawa K, Takahashi Y: Ictal death in Dravet syndrome model mice. American Epilepsy Society's Annual Meeting 2010, 2010.12.3-7, San Antonio, Texas, USA.
- 116) Ikeda H, Imai K, Ikeda H, Takahashi Y, Inoue Y: Lamotrigine is favorable for startle-induced seizures. American Epilepsy Society's Annual Meeting 2010, 2010.12.3-7; San Antonio, Texas, USA.
- 117) Imai K, Otani S, Ikeda H, Takayama R, Takahashi H, Mine J, Mogami Y, Shigematsu H, Takahashi Y, Shimojima K, Yamamoto T, Inoue Y: Peculiar seizures in the infantile epilepsy with CDKL-5 (cyclin-dependent kinase-like 5) mutation/deletion. American Epilepsy Society's Annual Meeting 2010, 2010.12.3-7; San Antonio, Texas, USA.

- 118) 高橋幸利：非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の臨床と病態における抗 GluR 抗体の役割. 第 19 回信州小児神経研究会, 2011.5.14 ; 松本
- 119) 高橋幸利, 山崎悦子, 最上友紀子, 西村成子：シンポジウム 2 小児免疫性中枢神経疾患の臨床—最近の進歩—非ヘルペス性辺縁系脳炎の免疫病態. 第 53 回日本小児神経学会, 2011.5.26-28 ; 横浜
- 120) 高橋幸利：新しいてんかん治療：現在・未来. 第 21 回福岡・久留米てんかん研究会, 2011.6.10 ; 福岡
- 121) 高橋幸利：脳炎後てんかんの臨床と免疫病態. 第 18 回福岡県てんかん懇話会, 2011.7.8 ; 福井
- 122) 高橋幸利, 那須郷裕, 平野恵子, 星野恭子, 藤澤大輔, 坂京子：2 相性脳症(AESD)の病態の検討. 第 114 回日本小児科学会学術集会, 2011.8.12-14 ; 東京
- 123) 高橋幸利, 西村成子, 高尾恵美子, 笠井理沙, 山崎悦子, 最上友紀子, 井上有史：培養神経細胞を用いた非ヘルペス性辺縁系脳炎の免疫病態の検討. 第 23 回日本神経免疫学会学術集会, 2011.9.15-17 ; 東京
- 124) 高橋幸利, 高山留美子, 大谷英之：シンポジウム 1 「小児を破局てんかんから救うためにはどうするか」乳幼児てんかん性脳症の病態と早期診断. 第 45 回日本てんかん学会, 2011.10.6-7 ; 新潟
- 125) 高橋幸利：非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の臨床と免疫病態. 第 47 回摩耶神経カンファレンス, 2011.10.21 ; 神戸
- 126) 高橋幸利：脳炎後てんかんの臨床と免疫病態. 第 23 回信州脳神経シンポジウム, 2011.10.29 ; 松本
- 127) 高橋幸利, 山崎悦子, 最上友紀子, 西村成子：シンポジウム 3 「急性脳炎脳症」脳症の臨床特徴・自己抗体 (抗グルタミン酸受容体抗体)：小児科領域. 第 16 回日本神経感染症学会, 2011.11.4-5 ; 東京
- 128) 高橋幸利, 最上友紀子, 美根潤, 今井克美, 高尾恵美子, 笠井理沙, 西村成子, 井上有史, 赤坂紀幸, 今村淳：Rasmussen 症候群の遺伝素因解析：Cytotoxic T-lymphocyte-associated protein 4 (CTLA4) の SNP の検討. 第 56 回日本人類遺伝学会・第 11 回東アジア人類遺伝学会 共同大会, 2011.11.9-12 ; 千葉
- 129) 高橋幸利：非抗グルタミン酸受容体抗体の病態機能、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎を中心に. 第 1 回膠原病の難治性病変を考える会, 2011.11.24 ; 東京
- 130) 高橋幸利, 山崎悦子, 長尾雅悦, 遠山潤, 岡田久, 渡邊宏雄, 白石一浩, 高田裕, 夫敬憲, 宮河真一郎, 田中滋己, 四家達彦, 田中茂樹, 中根俊成, 佐久間啓, 宇留野勝久：脳炎・脳症後てんかんの薬物治療. 第 3 回 JEPICC ワークショップ, 2012.1.28-29 ; 京都
- 131) Takahashi Y, Yamasaki E, Mine J, Kubota Y, Mogami Y, Imai K, Inoue Y: HEMISPHERECTOMY FOR RASMUSSEN'S SYNDROME IN EARLY CHILDHOOD, CONS -IMMUNOTHERAPY-. International Symposium on Surgery for Catastrophic Epilepsy in Infants, 2012.2.18-19; Tokyo
- 132) 高橋幸利：抗グルタミン酸受容体抗体と脳炎・てんかん. 第 4 回愛宕小児神経精神研究会, 2012.3.14 ; 東京
- 133) 高橋華奈子, 中澤憲一, 野澤(石井)玲子, 大野泰雄, 竹内幸一, 佐藤 薫：非ステロイド性抗炎症薬であるニフルミック酸, ジクロフェナクは, 異なるメカニズムを介してアストロサイトグルタミン酸トランスポーターEAAT1/GLAST 電流を阻害する. 第 4 回トランスポーター研究会, 2009.5 ; 東京
- 134) Sato K, Shigemoto-Mogami Y, Ohno Y: The relationship between the expression pattern of P2 receptors and functional roles of microglial cells in the postnatal SVZ. Fukuoka Purine 2009, 2009.7 ; 福岡
- 135) Shigemoto-Mogami Y, Nakazawa K, Sato K: Microglia instructs neurogenesis and gliogenesis in the subventricular zone. 第 36 回国際生理学会世

- 界大会(IUPS 2009), 2009.7 ; 京都
- 136) 高木淳平, 栗脇淳一, 佐藤 薫, 鈴木 岳 : Effects of SSRI on L-glutamate uptake activity of cultured astrocytes. 第 32 回日本神経科学大会, 2009.9 ; 名古屋
- 137) 佐藤 薫, James E. Goldman, 大野泰雄 : In vitro risk assessment system for the brain development at an early postnatal stage. 第 32 回日本神経科学大会, 2009.9 ; 名古屋
- 138) 佐藤 薫, 高橋華奈子, 石井一野澤玲子, 竹内幸一, 中澤 憲, 大野泰雄 : Two NSAIDs, niflumic acid and diclofenac, inhibit the human glutamate transporter EAAT1 through distinct mechanisms. SFN2009, 2009.10 ; 米国シカゴ
- 139) Suzuki T, Takaki J, Kamiya Y, Nakamura Y, Mashino T, Sato K, Nakazawa K, Takahashi T, Haruyama A, Mori K, Iwai T, Oka J-I: Neuropharmacological effects of fullerene derivatives. SFN2009, 2009.10 ; 米国シカゴ
- 140) 佐藤 薫, 重本一最上由香里, 大野泰雄 : ミクログリアを介した新たな創薬の可能性—ミクログリアと神経新生・グリア申請との関連. 日本薬学会 130 回年会シンポジウム, 2010.3 ; 岡山
- 141) 佐藤 薫, 重本一最上由香里, 大野泰雄 : 生後初期脳におけるミクログリアの役割. 第 83 回日本薬理学会, 2010.3 ; 大阪
- 142) 高木淳平, 栗脇淳一, 佐藤 薫, 鈴木岳志 : SSRI は培養アストロサイトグルタミン酸トランスポーターの取り込みを促進する. 第 83 回日本薬理学会, 2010.3 ; 大阪
- 143) 小山隆太 : てんかん脳の歯状回における異所性神経回路の形成. 第 32 回日本神経科学大会, 2009.9 ; 名古屋
- 144) 佐藤 薫, 重本一最上由香里, 大野泰雄, 関野祐子 : ミクログリアは生後初期脳室下帯の神経新生、オリゴデンドロサイト新生を誘導する. Neuro2010, 2010.9 ; 神戸市
- 145) 高橋華奈子, 中澤憲一, 石井一野澤玲子, 竹内幸一, 関野祐子, 佐藤 薫 : ナイフルミック酸によるヒトグルタミン酸トランスポーター EAAT1 substrate-gated conductance の調節. Neuro2010, 2010.9 ; 神戸市
- 146) 佐藤 薫, 重本一最上由香里, 大野泰雄, 関野祐子 : 生後初期脳におけるミクログリアの役割. 内藤コンファランス, 2010.10 ; 神奈川県湘南市
- 147) 高橋華奈子, 中澤憲一, 石井一野澤玲子, 竹内幸一, 関野祐子, 佐藤 薫 : ナイフルミック酸によるヒトグルタミン酸トランスポーター EAAT1 コンダクタンスの調節. 内藤コンファランス, 2010.10 ; 神奈川県湘南市
- 148) 佐藤 薫, 高橋華奈子, 中澤憲一, 石井一野澤玲子, 竹内幸一, 関野祐子 : ナイフルミック酸によるヒトグルタミン酸トランスポーター EAAT1 の基質依存的な調節. 第 84 回日本薬理学会年会, 2011.3 ; 横浜市
- 149) 高木淳平, 佐藤 薫, 鈴木岳之 : パロキセチンはリポポリサッカライドによって引き起こされるグルタミン酸トランスポーター活性の低下を抑制する. 第 84 回日本薬理学会年会, 2011.3 ; 横浜市
- 150) 佐藤 薫, James E Goldman, 関野祐子 : 生後初期脳のリスクアセスメントシステムの構築. 日本薬学会第 132 回年会, 2011.3 ; 静岡市
- 151) 佐藤 薫, 重本一最上由香里, 大野泰雄, 関野祐子 : ミクログリアは生後初期脳室下帯の神経新生、オリゴデンドロサイト新生を誘導する. Neuro2010, 2010.9 ; 神戸市
- 152) 高橋華奈子, 中澤憲一, 石井一野澤玲子, 竹内幸一, 関野祐子, 佐藤 薫 : ナイフルミック酸によるヒトグルタミン酸トランスポーター EAAT1 substrate-gated conductance の調節. Neuro2010, 2010.9 ; 神戸市
- 153) 佐藤 薫, 重本一最上由香里, 大野泰雄, 関野祐子 : 生後初期脳におけるミクログリアの役割. 内藤コンファランス, 2010.10 ; 神奈川県湘南市
- 154) 高橋華奈子, 中澤憲一, 石井一野澤玲子, 竹内幸一, 関野祐子, 佐藤 薫 : ナイフルミック酸によるヒトグルタミン酸トランスポーター EAAT1 コンダクタンスの調節. 内藤コンファ

- ランス, 2010.10 ; 神奈川県湘南市
- 155) 佐藤 薫, 高橋華奈子, 中澤憲一, 石井一野澤玲子, 竹内幸一, 関野祐子: ナイフルミック酸によるヒトグルタミン酸トランスポーターEAAT1 の基質依存的な調節. 第 84 回日本薬理学会年会, 2011.3 ; 横浜市
- 156) 高木淳平, 佐藤 薫, 鈴木岳之: パロキセチンはリポポリサッカライドによって引き起こされるグルタミン酸トランスポーター活性の低下を抑制する. 第 84 回日本薬理学会年会, 2011.3 ; 横浜市
- 157) 佐藤 薫, James E Goldman, 関野祐子: 生後初期脳のリスクアセスメントシステムの構築. 日本薬学会第 132 回年会, 2011.3 ; 静岡市
- 158) 藤森康希, 高木淳平, 佐藤 薫, 鈴木岳之: 炎症時のグリア間コミュニケーションがグルタミン酸トランスポーター機能変化をもたらす. 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2011, 2011.8 ; 東京
- 159) 佐藤 薫, 高木淳平, 藤森康希, 鈴木岳之, 関野祐子: パロキセチンは新規メカニズムにより炎症下のグルタミン酸取り込み機能低下を抑制する. 第 34 回日本神経科学大会, 2011.9 ; 横浜
- 160) 鈴木岳之, 高木淳平, 藤森康希, 佐藤 薫, 炎症時グリア間コミュニケーションによりアストロサイトグルタミン酸トランスポーター機能低下が引き起こされる. 第 34 回日本神経科学大会, 2011.9 ; 横浜
- 161) 最上(重本) 由香里, 関野祐子, 大野泰雄, 佐藤 薫: 生後ラットの脳・SVZ 周辺において活性化ミクログリアは神経およびグリア細胞の新生・分化を制御している. 第 34 回日本神経科学大会, 2011.9 ; 横浜
- 162) 片山(小口) 敦子, 門間彰彦, 大友ゆき, 守口 徹, 関野祐子, 佐藤 薫: 胎生期および新生期バルプロ酸暴露によるラット扁桃体遺伝子発現変動の網羅的解析. 第 34 回日本神経科学大会, 2011.9 ; 横浜
- 163) 高橋由香里, 永瀬将志, 落合敏平, 安井 豊, 中尾彩乃, 渡部文子, 高木 聡, 佐藤 優, 奥津浩也, 守口 徹, 佐藤 薫, 加藤総夫: 胎生～新生期における化学暴露が扁桃体神経興奮性及ばす影響の多面的評価法. 第 34 回日本神経科学大会, 2011.9 ; 横浜
- 164) 中 誠則, 真嶋悠幾, 井手総一郎, 佐藤 薫, 南雅文. 新生期バルプロ酸暴露が成獣ラット情動行動に与える影響. 第 21 回日本臨床精神神経薬理学会・第 41 回日本神経精神薬理学会合同年会, 2011.9 ; 東京
- 165) 真嶋悠幾, 中 誠則, 井手総一郎, 佐藤 薫, 南雅文. 新生期バルプロ酸暴露が成獣ラット情動行動に与える影響. 第 62 回日本薬理学会北部会, 2011.9 ; 仙台
- 166) 佐藤 薫: iPS 細胞由来ニューロンの薬理的プロファイリング. 平成 23 年度厚生労働省科学研究費補助金医療品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業シンポジウム「ヒト iPS 細胞を用いた安全性薬理試験へのロードマップ」, 2012.2 ; 東京
- 167) 佐藤 薫, 最上由香里, 関野祐子: 創薬標的としてのミクログリアの新しい可能性 日本薬学会第 132 回年会シンポジウム「次世代創薬に向けた新たなストラテジー」, 2012.3 ; 札幌
- 168) 高橋華奈子, 最上(重本)由香里, 岡田洋平, 大津香苗, 福角勇人, 正札智子, 金村米博, 岡野栄之, 関野祐子, 佐藤 薫: ヒト iPS 由来神経細胞標本の薬効・毒性評価への応用可能性—最適 iPS 株探索と標準プロトコルの作成. 日本薬学会第 132 回年会, 2012.3 ; 札幌
- 169) 最上(重本) 由香里, 藤森康希, 五十嵐良明, 広瀬明彦, 関野祐子, 佐藤 薫: カーボンナノチューブが神経幹細胞に与える影響. 日本薬学会第 132 回年会, 2012.3 ; 札幌
- 170) 片山敦子, 門馬彰彦, 大友ゆき, 今井美鈴, 秋友孝文, 守口 徹, 関野祐子, 佐藤 薫: 胎生～新生期の化学物質暴露が情緒社会性におよぼす影響を予測するマーカー機能タンパク質遺伝子群の探索. 日本薬学会第 132 回年会, 2012.3 ; 札幌

- 171) 藤森康希, 高木淳平, 佐藤 薫, 鈴木岳志 : 炎症条件下グルタミン酸トランスポーター機能低下に対する抗うつ薬の作用. 第 85 回日本薬理学会年会, 2012.3 ; 京都
- 172) 佐藤 薫, 栗脇淳一, 高橋華奈子, 齊藤善郎, 岡淳一郎, 尾谷優子, 沙宇, 中澤憲一, 関野祐子, 大和田智彦 : エストロゲン受容体を介さずグリア型グルタミン酸トランスポーターを抑制するタモキシフェン関連化合物の発見. 第 85 回日本薬理学会年会, 2012.3 ; 京都
- 173) Sato K, Shigemoto-Mogami Y, Ohno Y, Sekino Y: Microglia instruct neurogenesis and oligodendrogenesis in the early postnatal SVZ (ミクログリアは生後初期脳室下帯の神経新生、オリゴデンドロサイト新生を促進する) . ISN-ESN-2011 23rd Biennial Meeting, 2011.8-9; Athens, Greece ; アテネ市, ギリシャ国
- 174) Sato K, Shigemoto-Mogami Y, Ohno Y, Sekino Y: The role of activated microglia accumulated in the early postnatal SVZ (生後初期脳室下帯に集積しているミクログリアの役割) . ISN Satellite meeting, Glial cells in (patho)physiology, 2011.8; Ljubljana, Slovenia; リュブリャナ市, スロベニア国
- 175) Sato K, Takaki J, Fujimori K, Suzuki T, Sekino Y: Down-regulation of astrocyte L-glu transporters under inflammation is caused by glia-glial communication (炎症化のグルタミン酸トランスポーターの機能低下はグリア間コミュニケーションによって引き起こされる) . SfN2011, 2011.11; Washington D.C., USA ; ワシントン D.C., アメリカ合衆国
- び薬疹発症の診断方法 (2009.7.20), 発明者 : 高橋幸利, 池田浩子, 特願 2009-196090, 出願人 : 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団, 出願日 : 2009.8.26

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

- 1) 免疫介在性炎症性小脳疾患の診断マーカーとしての抗グルタミン酸受容体δ2 自己抗体迅速測定法. (職務発明に認定, 2009.4.14) 発明者 : 高橋幸利, 特願 2009-98435, 出願人 : 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
- 2) 抗てんかん薬による薬疹発症の診断マーカー及

## 研究成果の刊行に関する一覧表

## 書籍

著者氏名	書籍名	書籍全体の 編集者名	出版社名	出版地	ページ 出版年
高橋幸利.	小児てんかん診療マニュアル	藤原建樹 (監修) 高橋幸利 (編集)	診断と治療社	東京都	360 頁 2011

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号 : ページ 出版年
Yamamoto A, Shofuda T, Islam MO, Nakamura Y, Yamasaki M, Okano H, Kanemura Y.	ABCB1 is predominantly expressed in human fetal neural stem/progenitor cells at an early development stage.	J Neurosci Res	87(12):2615-2623, 2009
Nagase T, Ueno M, Matsumura M, Muguruma K, Ohgushi M, Kondo N, Kanematsu D, Kanemura Y, Sasai Y.	Pericellular matrix of decidua-derived mesenchymal cells: A potent human-derived substrate for the maintenance culture of human ES cells.	Dev Dyn	238(5):1118-1130, 2009
Yamane J, Nakamura M, Iwanami A, Sakaguchi M, Katoh H, Yamada M, Momoshima S, Miyao S, Ishii K, Tamaoki N, Nomura T, Okano HJ, Kanemura Y, Toyama Y, Okano H.	Transplantation of Galectin-1-Expressing Human Neural Stem Cells Into the Injured Spinal Cord of Adult Common Marmosets.	J Neurosci Res	88(7):1394-1405, 2010
Kanemura Y.	Development of cell-processing systems for human stem cells (neural stem cells, mesenchymal stem cells, and iPS cells) for regenerative medicine.	Keio J Med	59(2):35-45, 2010
Sakai Y, Yoshida S, Yoshiura Y, Mori R, Tamura T, Yahiro K, Mori H,	Effect of microwell chip structure on cell microsphere production of various animal cells.	J Biosci Bioeng	110(2):223-229, 2010

Kanemura Y, Yamasaki M, Nakazawa K.			
Irie Y, Saeki M, Tanaka H, Kanemura Y, Otake S, Ozono Y, Nagai T, Kondo Y, Kudo K, Kamisaki Y, Miki N, Taira E.	Methamphetamine induces endoplasmic reticulum stress related gene CHOP/Gadd153/ddit3 in dopaminergic cells.	Cell Tissue Res	345(2):231-241, 2011
Kanematsu D, Shofuda T, Yamamoto A, Ban C, Ueda T, Yamasaki M, Kanemura Y.	Isolation and cellular properties of mesenchymal cells derived from the decidua of human term placenta.	Differentiation	82(2):77-88, 2011
金村米博.	神経幹細胞樹立に使用可能な細胞ソースと細胞品質管理.	実験医学 増刊	28(2):75-82, 2010
金村米博, 森 英樹, 八尋寛司, 中澤浩二.	細胞凝集塊形成プロセス制御による幹細胞の培養・分化制御.	再生医療	9(3):47-52, 2010
金村米博.	中枢神経疾患に対する細胞移植療法を用いた再生治療.	脳神経外科	39(1):5-23, 2011
吉龍澄子, 金村米博.	ヒト真皮線維芽細胞の分化能評価.	日本形成外科学会誌	31(7):453-461, 2011
福角勇人, 金村米博.	ヒト ES/iPS 細胞の無フィーダー細胞培養技術の開発.	医学のあゆみ	239(14):11079-11085, 2011
Takahashi Y, Mine J, Kubota Y, Yamazaki E, Fujiwara T.	A substantial number of Rasmussen syndrome patients have increased IgG, CD4 <sup>+</sup> T cells, TNF $\alpha$ , and Granzyme B in CSF.	Epilepsia	50(6):1419-1431, 2009
Inoue Y, Ohtsuka Y, Oguni H, Tohyama J, Baba H, Fukushima K, Ohtani H, Takahashi Y, Ikeda S.	Stiripentol open study in Japanese patients with Dravet syndrome.	Epilepsia	50(11):2362-2368, 2009
Ichiyama T, Takahashi Y, Matsushige T, Kajimoto M, Fukunaga S,	Serum matrix metalloproteinase-9 and tissue inhibitor of metalloproteinase-1 levels in non-herpetic acute limbic encephalitis.	J Neurol	256(11):1846-1850, 2009

Furukawa S.			
Kashihara K, Kawada S, Takahashi Y.	Autoantibodies to glutamate receptor GluR $\epsilon$ 2 in a patient with limbic encephalitis associated with relapsing polychondritis.	J Neurol Sci	287(1-2):275-277, 2009
Ikeda H, Takahashi Y, Yamazaki E, Fujiwara T, Kaniwa N, Saito Y, Aihara M, Kashiwagi M, Muramatsu M.	HLA-class I markers in Japanese patients with carbamazepine-induced cutaneous adverse reactions.	Epilepsia	51(2):297-300, 2010
Shihara T, Takahashi Y.	Correspondence: A further case of opsoclonus-myoclonus syndrome associated with Mycoplasma pneumoniae infection.	Eur J Pediatr	169(5):639, 2010
Sakuma H, Awaya Y, Shiomi M, Yamanouchi H, Takahashi Y, Saito Y, Sugai K, Sasaki M.	Acute encephalitis with refractory, repetitive partial seizures (AERRPS): a peculiar form of childhood encephalitis.	Acta Neurol Scand	21(4):251-256, 2010
Kashihara K, Ohno M, Takahashi Y.	Twenty-one-year course of adult-onset Rasmussen's encephalitis and bilateral uveitis: case report.	J Neurol Sci	294(1-2):127-130, 2010
Muto A, Oguni H, Takahashi Y, Shirasaka Y, Sawaishi Y, Yano T, Hoshida T, Osaka H, Nakasu S, Akasaka N, Sugai K, Miyamoto A, Takahashi S, Suzuki M, Ohmori I, Nabatame S, Osawa M.	Nationwide survey (incidence, clinical course, prognosis) of Rasmussen's encephalitis.	Brain Dev	32(6):445-453, 2010
Yoshikawa T, Asano Y, Takahashi Y.	Detection of DNA of six human herpesviruses in the cerebrospinal fluid of immunocompetent non-herpetic acute limbic encephalitis patients.	Microbiol Immunol	54(8):471-474, 2010
Tachibana N, Shirakawa T, Ishii K, Takahashi Y, Tanaka K, Arima K,	Expression of various glutamate receptors including N-methyl-D-aspartate receptor (NMDAR) in an ovarian teratoma removed from a young woman with anti-NMDAR encephalitis.	Intern Med	49(19):2167-2173, 2010

Yoshida T, Ikeda S.			
Kaniwa N, Saito Y, Aihara M, Matsunaga K, Tohkin M, Kurose K, Furuya H, <u>Takahashi Y</u> , Muramatsu M, Kinoshita S, Abe M, Ikeda H, Kashiwagi M, Song Y, Ueta M, Sotozono C, Ikezawa Z, Hasegawa R; JSAR research group.	HLA-B*1511 is a risk factor for carbamazepine-induced Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis in Japanese patients.	Epilepsia	51(12):2461-2465, 2010
Tojo K, Nitta K, Ishii W, Sekijima Y, Morita H, <u>Takahashi Y</u> , Tanaka K, Ikeda S.	A Young Man with Anti-NMDAR Encephalitis following Guillain-Barré Syndrome.	Case Rep Neurol	3(1):7-13, 2011
Shimajima K, Sugiura C, Takahashi H, Ikegami M, <u>Takahashi Y</u> , Ohno K, Matsuo M, Saito K, Yamamoto T.	Genomic copy number variations at 17p13.3 and epileptogenesis.	Epilepsy Res	89(2-3):303-309, 2010
Sakauchi M, Oguni H, Kato I, Osawa M, Hirose S, Kaneko S, <u>Takahashi Y</u> , Takayama R, Fujiwara T.	Mortality in Dravet syndrome: search for risk factors in Japanese patients.	Epilepsia	52 (Suppl 2): 50-54, 2011
Nomura Y, Aihara M, Matsukura S, Ikezawa Y, Kambara T,	Evaluation of serum cytokine levels in toxic epidermal necrolysis and Stevens-Johnson syndrome compared with other delayed-type adverse drug reactions.	J Dermatol	38(11):1076-1079, 2011

Aihara Y, <u>Takahashi Y</u> , Ikezawa Z.			
Sakauchi M, Oguni H, Kato I, Osawa M, Hirose S, Kaneko S, <u>Takahashi Y</u> , Takayama R, Fujiwara T.	Retrospective multiinstitutional study of the prevalence of early death in Dravet syndrome.	Epilepsia	52(6):1144-1149, 2011
Kawashima H, Ishii C, Yamanaka G, Ioi H, Takekuma K, Ogihara M, Hoshika A, <u>Takahashi Y</u> .	A boy with non-herpes simplex acute limbic encephalitis and antiglutamate receptor antibodies.	Clin Med Insights Case Rep	4:43-47, 2011
Yamazaki E, <u>Takahashi Y</u> , Akasaka N, Fujiwara T, Inoue Y.	Temporal changes in brain MRI findings in Rasmussen syndrome.	Epileptic Disord	13(3):229-239, 2011
Takano S, <u>Takahashi Y</u> , Kishi H, Taguchi Y, Takashima S, Tanaka K, Muraguchi A, Mori H.	Detection of autoantibody against extracellular epitopes of N-methyl-D-aspartate receptor by cell-based assay.	Neurosci Res	71(3):294-302, 2011
Liang JS, Shimojima K, Takayama R, Natsume J, Shichiji M, Hirasawa K, Imai K, Okanishi T, Mizuno S, Okumura A, Sugawara M, Ito T, Ikeda H, <u>Takahashi Y</u> , Oguni H, Imai K, Osawa M, Yamamoto T.	CDKL5 alterations lead to early epileptic encephalopathy in both genders.	Epilepsia	52(10):1835-1842, 2011
Ikeda H, Imai K,	Lamotrigine is favourable for startle-induced seizures.	Epileptic Disord	13(3):277-283, 2011

Ikeda H, Shigematsu H, Shishido T, Takayama R, Fujiwara T, <u>Takahashi Y</u> , Inoue Y.			
Hashimoto N, Kagitani- Shimono K, Sakai N, Otomo T, Tominaga K, Nabatame S, Mogami Y, <u>Takahashi Y</u> , Imai K, Yanagihara K, Okinaga T, Nagai T, Taniike M, Ozono K.	SLC2A1 gene analysis of Japanese patients with glucose transporter 1 deficiency syndrome.	J Hum Genet	56(12):846-851, 2011
Shoji H, Kimura N, Kumamoto T, Ichiyama T, <u>Takahashi Y</u> .	Non-Herpetic Acute Limbic Encephalitis: A New Subgroup of Limbic encephalitis?	Pathogenesis of Encephalitis edited by Daisuke Hayasaka, InTech	Open Access Publisher, Dec. 2011
Iwasaki Y, Okamoto A, Shoda H, <u>Takahashi Y</u> , Fuji K, Kawahata K, Yamamoto K.	Subacute cerebellar ataxia and atrophy developed in a young woman with systemic lupus erythematosus whose cerebrospinal fluid was positive for antineuronal cell antibody.	Lupus	21(3):324-328, 2012
Yamamoto Y, Inoue Y, Matsuda K, <u>Takahashi Y</u> , Kagawa Y.	Influence of concomitant antiepileptic drugs on plasma lamotrigine concentration in adult Japanese epilepsy patients.	Biol Pharm Bull	35(4):487-493, 2012
Aihara Y, Oyama Y, Ichikawa K, Takeshita S, <u>Takahashi Y</u> , Kambara T, Aihara M.	Toxic epidermal necrolysis in a 4-year-old boy successfully treated with plasma exchange in combination with methylprednisolone and i.v. immunoglobulin.	J Dermatol	in press.
Miyata R, Tanuma N, Hayashi M, <u>Takahashi Y</u> .	Focal encephalopathy with recurrent episodes of epileptic status and cluster mimicking hemiconvulsion-hemiplegia-epilepsy syndrome.	Brain Dev	in press.
Mogami Y, <u>Takahashi Y</u> , Takayama R,	Cutaneous adverse drug reaction in patients with epilepsy after acute encephalitis.	Brain Dev	in press.

Ohtani H, Ikeda H, Imai K, Shigematu H, Inoue Y.			
Takayama R, <u>Takahashi Y</u> , Mogami Y, Ikegami M, Mukaida S, Ikeda H, Imai K, Shigematsu H, Suzuki Y, Inoue Y.	Self-induced seizures presumably by peri-orbital somatosensory self-stimulation: A report of two cases.	Brain Dev	in press.
Tohkin M, Kaniwa N, Saito Y, Sugiyama E, Kurose K, Nishikawa J, Hasegawa R, Aihara M, Matsunaga K, Abe M, Furuya H, <u>Takahashi Y</u> , Ikeda H, Muramatsu M, Ueta M, Sotozono C, Kinoshita S, Ikezawa Z, the Japan Pharmacogenom ics Data Science Consortium.	A whole-genome association study of major determinants for allopurinol-related Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis in Japanese patients.	Pharmacogenomics J	in press.
Fujita K, Yuasa T, <u>Takahashi Y</u> , Tanaka K, Hashiguchi S, Adachi K, Izumi Y, Kaji R.	Detection of anti-glutamate receptor $\epsilon 2$ and anti-N-methyl-D: -aspartate receptor antibodies in a patient with sporadic Creutzfeldt-Jakob disease.	J Neurol	in press.
Takanashi J, <u>Takahashi Y</u> , Imamura A, Kodama K, Watanabe A, Tominaga K, Muramatsu K, Barkovich AJ.	Late Delirious Behavior With 2009 H1N1 Influenza: Mild Autoimmune-Mediated Encephalitis?	Pediatrics	in press.

Wakamoto H, Takahashi Y, Ebihara T, Okamoto K, Hayashi M, Ichiyama T, Ishii E.	An immunologic case study of acute encephalitis with refractory, repetitive partial seizures.	Brain Dev	in press.
Cao D, Ohtani H, Ogiwara I, Ohtani S, Takahashi Y, Yamakawa K, Inoue Y.	Efficacy of stiripentol in a mouse model of severe myoclonic epilepsy in infancy.	Epilepsia	in press.
美根 潤, 高橋幸利, 高橋宏佳, 大谷早苗, 池田浩子, 久保田裕子, 今井克美, 藤原建樹	インフルエンザワクチン接種後にみられたてんかん3例の病態の検討.	日本小児科学会誌	113(5):849-856, 2009
酒井智彦, 田崎 修, 松本直也, 鶴飼 勲, 別宮豪一, 高橋幸利, 杉本 壽.	フェノバルビタール大量療法が奏効したと考えられる痙攣重積症例の一例.	日本救急医学会雑誌	20(5):258-264, 2009
小出泰道, 長尾雅悦, 福島克之, 宇留野勝久, 笹川睦男, 高橋幸利, 岡田 久, 渡邊宏雄, 高田裕, 井上美智子, 夫 敬憲, 後藤一也, 馬場啓至, 森川建基, 井上有史.	ガバペンチンの有効性と安全性についての多施設共同研究.	てんかん研究	27(1):12-21, 2009
野口祥紀, 三島信行, 高橋幸利, 井上有史.	ステイリペンツール併用による血中デスメチルクロバザム濃度の変動-CYP2C19 遺伝子多型に基づく4症例における検討一.	てんかん研究	27(1):39-44, 2009
高橋幸利, 高山留美子, 向田壮一, 池上真理子,	抗 NMDA 受容体複合体抗体と抗グルタミン酸受容体ε2 抗体.	最新医学	64(7):1520-1526, 2009

池田浩子 今井克美, 久保田裕子.			
山本吉章, 三島信行, 松田一己, 高橋幸利.	バルプロ酸服用中でのてんかん患者における高アンモニア血症発生リスクに関する症例対照研究.	医療薬学	35(7):445-452, 2009
高橋幸利, 池上真理子, 向田壮一.	小児疾患診療のための病態生理 2. てんかん.	小児内科増刊号	41:728-734, 2009
高橋幸利, 山崎悦子, 長尾雅悦, 小出信雄, 宇留野勝久, 遠山潤, 岡田久, 渡辺宏雄, 樋口嘉久, 高田裕, 夫敬憲, 馬場啓至, 村木幸太郎, 田中滋己, 湯浅龍彦, 須貝研司.	急性脳炎の後遺症に関する調査, -ADL・てんかん発作・知的障害・精神障害・記憶障害・運動障害-.	Neuroinfection	14(1):106-112, 2009
高橋幸利, 高山留美子, 最上友紀子.	グルタミン酸受容体と自己免疫疾患.	感染炎症免疫	39(3):258-263, 2009
増田曜章, 木村成志, 石橋正人, 伊東真知子, 高橋幸利, 熊本俊秀.	髄液抗グルタミン酸受容体 $\epsilon 2$ 抗体陽性の非ヘルペス性急性辺縁系脳炎をともなった Vogt-小柳-原田病の1例.	臨床神経学	49(8):483-487, 2009
高橋幸利, 最上友紀子, 高山留美子, 向田壮一, 池上真理子.	てんかんと免疫.	Epilepsy	3(2):109-115, 2009
高橋幸利, 山崎悦子, 松田一己.	「大脳白質をめぐって-画像と最新の知見」 B. 大脳白質の変化・病変, 7) 炎症, a. Rasmussen 脳炎.	Clinical Neuroscience	27(11):1279-1281, 2009
柏原健一, 今村貴樹, 河田幸波, 大野学, 高橋幸利.	成人発症 Rasmussen 脳炎の1例.	臨床脳波	51(11):708-711, 2009
渡邊宏雄, 高橋幸利, 木全かおり.	良好な知的発達を認める乳児重症ミオクロニーてんかんの一例.	臨床脳波	51(12):773-777, 2009
千葉悠平,	ステロイドパルス療法により認知機能障害が	精神科治療学	24(11):1405-1410, 2009

勝瀬大海, 高橋幸利, 米田 誠, 山田高裕, 岸田日帯, 杉山美紀子, 都甲 崇, 平安良雄.	改善した、抗グルタミン酸受容体 $\alpha 2$ 抗体陽性の橋本脳症の1例.		
高橋幸利, 最上友紀子, 高山留美子, 向田壮一, 池上真理子, 池田浩子, 今井克美.	免疫性神経疾患:最近の進歩、NMDA型グルタミン酸受容体と神経疾患.	Neuroimmunology	17(2):245-255, 2009
甲斐 太, 和田健二, 高橋幸利, 中島健二.	抗グルタミン酸受容体抗体が陽性であった可逆性脳梁膨大部病変を伴った脳炎(MERS)の1例.	神経内科	71(4):397-401, 2009
小野浩明, 高橋幸利.	インフルエンザ感染を契機に非ヘルペス性辺縁系脳炎を発症した1例.	脳と発達	42(1):58-60, 2010
高橋幸利, 高山留美子, 向田壮一, 池上真理子, 池田浩子, 池田 仁.	免疫機序による認知症. 認知症診療マニュアル	神経内科	72(Suppl6):422-426, 2010
高橋幸利, 最上友紀子, 高山留美子, 向田壮一, 池上真理子, 池田浩子, 今井克美.	急性脳炎のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明.	Annual Review 神経 2010	85-93, 2010
庄司紘史, 遠藤智代子, 田中 薫, 迫 香織, 小池文彦, 高橋幸利.	目でみる症例欄、単純ヘルペス脳炎/非ヘルペス性辺縁系脳炎・脳症.	内科	105(1):152-156, 2010
高橋幸利, 最上友紀子, 高山留美子.	病気と薬パーフェクトブック 2010 : てんかん.	薬局	61(4):1395-1402, 2010
高橋幸利, 最上友紀子, 高山留美子.	神経疾患と抗 NMDA 型グルタミン酸受容体抗体.	Clinical Neuroscience	28(4):364-365, 2010
高橋宏佳, 高橋幸利, 美根 潤, 向田壮一, 池上真理子, 池田浩子, 大谷英之,	Dravet 症候群における Topiramate の治療効果.	脳と発達	42(4):273-276, 2010

下村次郎, 久保田裕子, 藤原建樹.			
高橋幸利, 山崎悦子.	てんかん治療 Update—研究と臨床の最前線、 19.てんかんの自己免疫病態.	医学の歩み	232(10), 1069-1075, 2010
野口佐綾香, 加賀佳美, 高橋幸利, 青柳閣郎, 中村幸介, 神谷裕子, 中根貴弥, 金村英秋, 杉田完爾, 相原正男.	神経節神経種による傍腫瘍症候群 (抗 GluRε2 抗体陽性) と考えられた反復性小脳失調症の一 例.	脳と発達	42(4):297-301, 2010
高橋幸利, 最上友紀子, 高山留美子, 池田浩子, 今井克美.	辺縁系脳炎とグルタミン酸受容体抗体.	Brain and Nerve	62(8):827-837, 2010
高橋幸利, 伊藤智城, 臼井大介, 木村暢佑, 木村記子, 須佐史信, 那須裕郷, 福山哲広, 最上友紀子, 高山留美子, 池田浩子, 今井克美.	非ヘルペス性急性辺縁系脳炎.	小児科診療	73(12):2149-2154, 2010
高橋幸利, 伊藤智城, 臼井大介.	神経疾患と分子マーカー、3.脳炎.	Clinical Neuroscience	28(12):1392-1395, 2010
高橋幸利, 伊藤智城, 臼井大介, 木村暢佑, 木村記子, 須佐史信, 那須裕郷, 山口解冬, 福山哲広, 村上智彦.	自己免疫が関わる脳炎・脳症.	小児科	51(12):1737-1748, 2010
庄司紘史, 為数哲史, 金子めぐみ, 村岡範裕, 小池文彦, 田畑絵美, 高橋幸利.	非ヘルペス性辺縁系脳炎・周辺疾患の後遺症の 研究.	国際医療福祉大学福 岡リハビリテーショ ン学部・福岡看護学 部紀要	6:7-12, 2010
池田浩子,	ミオクロニー欠神てんかんの臨床症状と経過.	脳と発達	43(1):14-18, 2011

藤原建樹, 重松秀夫, 今井克美, 久保田英幹, 久保田裕子, 高橋幸利, 井上有史.			
臼井大介, 満田直美, 細川卓利, 藤枝幹也, 高橋幸利, 脇口 宏.	髄液中抗グルタミン酸受容体 $\delta 2$ および $\epsilon 2$ 抗体陽性で転換性障害を合併した遷延性小脳失調症の 1 例.	脳と発達	43(1):41-45, 2011
高橋幸利, 伊藤智城, 臼井大介, 木村暢佑, 須佐史信, 那須裕郷, 福山哲広, 藤原由美, 村上智彦, 山口解冬, 高山留美子, 大谷英之, 最上友紀子, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫.	けいれんを主症状とするてんかん.	小児内科	43(3):545-549, 2011
高橋幸利, 久保田裕子, 池田浩子, 高山留美子, 最上友紀子, 池上真理子, 向田壮一, 大谷英之, 大谷早苗, 美根 潤, 重松秀夫, 今井克美.	小児難治てんかん症例における Lamotorigine の併用使用経験.	日本小児科学会誌	115(3):585-591, 2011
齊藤利雄, 斎藤朋子, 高橋幸利, 穀内洋介, 藤村晴俊.	脳 MRI で大脳基底核、視床枕、後頭・側頭葉皮質病変を呈し、抗グルタミン酸受容体抗体が陽性であった若年女性脳炎の 1 例.	臨床神経学	51(3):192-196, 2011
浜野宣行, 高橋幸利, 岡本明久, 三木博和, 阪本幸世, 西憲一郎, 中尾慎一,	若年女性にみられた非腫瘍随伴性抗 N-methyl-D-aspartate(NMDA)受容体脳炎の 1 症例.	日本集中治療医学会雑誌	18:233-237, 2011